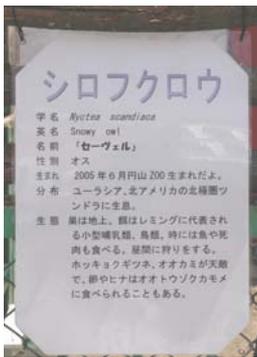


動物園からこんにちは

札幌市立伏見中学校

第2学年理科資料

こんにちは。円山動物園の「幅崎」です。いよいよ定期テストですね。今まで学習してきた成果を発揮する本番であり、将来の受験などへ向けての練習でもあると思います。今回のテスト問題に「動物園からこんにちは」からの出題があるのでしょうか。さて、今回は、動物の持つ不思議な能力についてです。



理科室掲示板に「円山動物園コーナー」があった＝今もある？のを覚えていますか。この担当は、「幅崎」でした。たぶん今は更新されることなく過ぎているのが「円山動物園」です。そして話題のハリポッターのショー？いいえ「シロフクロウ」のふれあいができるのもここだけです。あいにくですが、夏はシロフクロウにとって換羽(古い羽根が抜けて、新しい羽根が生えること)の時期です。円山生まれのセーベル君もその時期と

なり、雪原を勇ましく飛行する姿は見られません。しかし、子供動物園のコーナーでそのすてきな姿と対面することができます。正面に精悍な 2つの目、勇ましくちばしや爪、肉食動物としての彼の特徴が、目の前で観察できます。そして、首がぐるりと回る姿は、ハリポッターと同じ？いいえ映画はCGで、円山は本物です。

さて「セーベル」君の展示担当は、女性飼育員「鈴木」さんです。右の写真を見てく



ださい。口元は、「への字」。何となく「緊張モード」だと思いませんか。セーベル君は、まだ少年なので仕方ありません。いえいえ、「鈴木」さんのほうです。そう、彼女は、お話をするのが、あまり得意ではないのです。でもセーベル君が入ること



ことで生き生きとした「セーベル」君と「鈴木」さん、本物が、解説付きで楽しめます。偉大な自然

の力が、皆さんと動物たちの心に鈴木さんという架け橋をかけてくれます。
理科の学習の基本は、「自然を見る力」です。前期のうちにその力をつけて、後期の「原子分子」や「気象」単元でも力を発揮してほしいと思います。けして、頭でっかちの動物オタクになっては、いけません。(フクロウ目 フクロウ科)



動物園情報 みんなでレポートしよう。

6月から「山本・幅崎」教員チームによるふれあい教室「ウサギの世界・モルモット教室」が本格スタートします。毎日、午前と午後の2回、ウサ・モルがみなさんをお待ちしております。もちろん動物の体調を考えての行事ですので中止や変更になるかもしれませんが、ヒト以外の生き物と接することで何かをつかむ機会も多いと思います。心臓の鼓動だって違うのです。(ほ乳類ですから「2心房2心室」と学習していますよね。心音を感じてみてください、ヒトと全然違いますよ。)

動物園のスタッフは、皆さんの学習の進度を知らなかったり、説明が苦手な人が多いのも事実のようです。でも、彼らは動物たちのことをみんなに見て、感じてほしいと思っています。でも、動物の前で 元気よく説明すると動物たちはびっくりしてしまいます。動物たちを気遣って、そしてキーパーとして確かな説明をしてくれます。質問をしてみてください。動物の心配事があるときや極端に忙しいとき以外は、意外と丁寧に教えてくれますよ。くれぐれも動物を驚かささないくださいね。では、また。